



小樽市能楽堂 小樽市公会堂

小樽の歴史
再発見

記念はがき

5枚組 特別価格 300円

2007年7月販売開始



小樽市民センター・市民会館・公会堂にて好評取扱中！



小樽市能楽堂は昭和29年（1954）に岡崎家より寄贈された同家能舞台であり、昭和36年（1961）、公会堂の移築と同時に現在地に再建された。佐渡出身の荒物雑貨商、元小樽市議会議長・岡崎謙氏は大正15年（1926）、入船町の私邸内に能舞台を建設した。構想はその2年前、東京の現・靖国神社能舞台（旧・芝能楽堂）に調査に向き、大正14年（1925）7月に着手、大正15年（1926）1月に完成させている。能舞台の仕様は江戸幕府によって定められ、鏡板の松の絵は狩野派の筆によることが基本とされていたが、この岡崎家の能舞台はこれら原則に従った格式高い能舞台である。